

# 神ギ協

神奈川ギター協会

〒244-0801

横浜市戸塚区品濃町 511-3

カサハラビル品濃町 301

西本ギター教室内

Tel 045-825-8815

2022/9/8 発行 (編集責任者 飯田敏史)

## 第 50 回神奈川新人ギタリストオーディション

2022 年 6 月 19 日 (日) 神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」

神奈川ギター協会主催

写真とレポート: 川俣 明 (神奈川ギター協会委員 兼 名誉会員)



(入賞者と入選者、ゲスト審査員: レオナルド・ブラーボ氏)

### 講評

2022 年 6 月 19 日 (日) 神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」で、本年度も十分な COVID-19 感染対策配慮し、第 50 回神奈川新人ギタリストオーディションを開催した。本選ゲスト審査員にはレオナルド・ブラボー氏を迎えた。尚、今回からは応募規定に「神奈川県在学在在在勤または神奈川県に關係するギタリストに師事する・・・」などの所謂「神奈川しぼり」は無くなって全国どこからでも応募可能となり、より広く参加を募る形となった。

さて今回は昨年度次点者一名を含む 29 名の応募者で、まだまだ過去の開催よりは少な目であったが、それでもますますの盛況であったと言える。

12 時 30 分に開始された予選では課題曲の F.ソル作曲の「練習曲 Op.35-17(版自由)」と各自が予め登録した 3 分以内の自由曲の演奏で審査した。予選課題曲は親しみやすい曲ではあるが、旋律と伴奏

型のソル独自の複雑な交差の表現が難しく、そこを上手く処理できた奏者は少なかった。課題曲を適切に表現できた者、自由曲の演奏で高得点を得た者が本選出場に決まったと言えよう。集計の結果5名が予選を通過し、本選へと進んだ。

本選では課題曲のJ.イルマル作曲の「バーデンジャズ組曲より第1楽章」と、各自が予め登録した6分以上10分以内の自由曲を演奏した。本選の採点は従来どおり80点を合格の目安とし、上下10点ずつの幅を持たせて採点し、平均点を算出して判定する方法を採った。審査室で協議の結果4名が、入賞合格となった。5番目の得点者を次点入選者と決定した。表彰式ではブラボー氏より「全体的に音楽の流れをもう少し良く捉えると良いと思う。ヒントを一つ申し上げると、時にはギター離れて音楽を考えて、そしてギターに帰って考えると、より自分の音楽の成長となると思う。」など、印象に残るコメントを日本語で頂いた。

尚、今回から本選出場者ではなく、「本選に進めなかった人」で「年齢が50歳以上」の成績上位者に「特別賞」を授与した。今回の受賞者は予選順8番の蔵本浩史(くらもと こうし)であった。

以下に本選の演奏順に結果と評を記す。尚、敬称は略させて頂く。

### 1.藤崎哲郎(ふじさき てつろう) <入賞・合格>

予選自由曲: 昨年度次席により予選免除

本選自由曲: BWV1007より「サラバンド」(J.S.バッハ)、「ロマンス」(J.K.メルツ)、  
「ベネズエラワルツ第3番」(A.ラウロ)

決して派手な方向に走る演奏ではないが、速い部分も節度と落ち着きを保ち、安定した好感の持てるベテランらしい演奏を終始聞かせた。簡素ながらも美しい音色で、低高音の響きのバランスの良い演奏に思えた。課題曲は冒頭少し不安定な部分もあったが、確固としたスタイルは崩れず安心して聴き終えることができた。「ボサノバのテンポで」のところは落ち着いたテンポが却って雰囲気を出したように思う。自由曲「サラバンド」はよく考えられた安定感のある演奏。「ロマンス」は曲が進むにつれ様式感が明確に表現された。「ベネズエラワルツ第3番」では速い動きの中でも乱暴になったり崩れたりすることのない安定感があった。

### 2.赤井香琳(あかい かりん) <入賞・合格>

予選自由曲: 「タレガ讃歌」より「ソレアレス」(J.トゥリーナ)

本選自由曲: 劇的幻想曲「旅立ち」(N.コスト)

溢れんばかりの表現意欲と優れた高度な技術を持ち合わせた若い奏者である。少し大き目な体の動きを伴って情熱を含め、音楽を魅力的に表現する優れた音楽性がある。課題曲は、早目のテンポで弾き進め、華やかな印象だった。「雰囲気」というものよりも表現意欲が優位に立っている感じで聴衆に強烈な印象を与えたのではないだろうか。自由曲では更に切れ味の良さも加わって緩急の弾き分けも良く、曲の持つ魅力を良く引き出していた。細かいフレーズも見事で、演奏全体がファンタジックでもあり、一瞬チャルダッシュ風のフレーズが聞こえた時は「作曲者はメルツだったかな?」と思わず見直したほどだった。激しい音楽への推進力が魅力的であるが、欲を言えば今一つ美しい音色が欲しい。

### 3.伊藤陽夏(いとう はるか) <入選>

予選自由曲: 「きつね火の歌」(M.de.ファリャ)

本選自由曲: 「カプリース第27番」(L.レニャーニ)、「前奏曲第1番」(H.ヴィラ=ロボス)

美しい音色と十分な音量を持ちながら、歌い回しに特徴があり、それが効果的なところと効果的でなかったところの差が出てしまい、高得点に繋がらなかったように思われる。課題曲の始まったところで不運にも、会場でドアの開閉の音のような雑音が入り、気になったようだが、それでも徐々に安定して美しくメロディーを奏でた。テヌートで奏するところは少し強調しすぎて流れを損なったのではないだろうか。自由曲「カプリース」は堅固で注意深い音楽作りであったが、歌い回しにはもう少し軽みも欲しいと思われた。「前奏曲第1番」は聞きなれた曲でもあり新鮮味が欲しいと思った。後

半は疲れも出たのか小さな綻びも出てしまった。自分の内部から出てくる音楽を確固たるものとして再挑戦を期待したい。

#### 4.神谷光昭(かみや みつあき) <入賞・合格>

予選自由曲:BWV1009 より「クーラント」(J.S.バッハ)

本選自由曲:BWV1009 より「前奏曲」、同「ジグ」(J.S.バッハ)

テクニックや華やかさで勝負するのではなく、どちらかといえば(良い意味でだが)無骨でも確固たる信念のもとでの演奏が展開された。潤いのある骨太の音色が魅力的だった。課題曲は、優しく思い入れを持って始められ、途中のスケールの歌い方にも心がこもっていた。気の利いたアゴーギグにも安らぎがある。「ボサノバのテンポで」のところは少し持て余し気味ではあったが雰囲気は十分に表現されていた。自由曲「前奏曲」と「ジグ」は共に、奏者の信念に基づいた安定感のある堂々たるバッハの演奏であった。時おり小さな破綻が無いわけではないが演奏全体がブレることはなく、ふくやかに進んで行くさまは感動を呼んだと思われる。

#### 5.渡邊健児(わたなべ けんじ) <入選・次点>

予選自由曲:「ベネズエラワルツ第3番」(A.ラウロ)

本選自由曲:「魔笛の主題による変奏曲」(F.ソル)

真っ向正面から演奏に取り組む姿には迫力と緊張感がある。そして十分な音量と明快な音色を持っている。しかし、時には息を抜いた部分も望まれるのではないだろうか。課題曲は集中力を持って美しく歌い上げられていたが、やはり柔軟性も欲しかった。「ボサノバのテンポで」のところはキレが良く見事な表現だったが、細かな弾きこぼしが残念であった。自由曲は十分な技術で奏されてはいたが、張り詰めた緊張感の裏返しなのか些細な綻びが惜しい。聞き続けていると細かいビリ付き、消音の曖昧さ、なども気になってしまった。全体に少し肩の力を抜き、細かいパッセージも、より確実にキメられるように頑張って再挑戦して貰いたいものだ。

#### 6.小林愛美(こばやし あみ) <入賞・合格>

予選自由曲:「特徴的舞曲」(L.ブローウェル)

本選自由曲:劇的幻想曲「旅立ち」(N.コスト)

正統的な音楽感覚と堅実な技術を持ち、演奏は落ち着いて、且つ丁寧で安心感があった。コンクールなどの場では、刺激的な音色や表現が多くあったほうが有利かもしれないが、このように安定感のあるクオリティーの高い演奏能力というのも、やはり必要不可欠なものであろう。課題曲は、落ち着いたテンポで始められ、メロディーは美しく歌われていた。「ボサノバのテンポで」のところは極めてリズム感良く演奏されていて印象深かった。ただ時おり見せる右手の位置の変化での音色の変化はあまり効果が無かったように思えた。自由曲は2人で同じ曲となると、ついつい比較しがちになるが、各々の演奏のアプローチは随分違っていたと思われる。小林の演奏はかなり丁寧な感じで進んで行き、危なげなく、曲の形をしっかりと表現していて、良くこなれた演奏であったと言えよう。

【小林 愛美さん】

・本日の感想

このオーディションは3年前と4年前にも受けて、どちらも予選で大きなミスをしてしまい、それからしばらくコンクールは受けてなかったんですが、今回は事前の準備をしっかりとやって人前での演奏機会も作り自分の中での成功体験というものを増やして自信に繋げていけたかなと思います。今日は本番の空気を楽しみながら今までで一番いい演奏ができたと思うことができました。

・使用ギター

松井邦義・松 (1997)

・ギター歴

中学1年生で始めたので10年目くらいです

・自由曲の準備期間は

今回の自由曲はギタリストのパクキュヒさんが昨年出したアルバムの中で弾いてまして、そこで初めてこの曲を知りました。古典的だけどロマン派のような美しさも感じてずっとやりたいなと思いつつ、難しいかなぁと悩んでいたのですが、去年の11月頃に譜読みを始めて自分に向いてるかもしれないと思い、そこからずっと練習して7ヶ月くらいですね。

・今後の目標

今は音大の4年なのですが、これからは演奏活動もやっていきたいなと思っています。お客さんの感情に触れるような、気持ちを共有できるような、そんな演奏家になりたいなと思います。

【赤井香琳さん】

・本日の感想

神奈川は初めてのホールですごくドキドキしながら演奏しました。でも最近は人前で弾く機会があまりなかったのでとても楽しかったです。

・使用ギター

パウリーノ・ベルナベ



・ギター歴

3歳からやってるので16、7年になります

・自由曲の準備期間

数年前から始めてはいましたが、ずっと練習していたわけではないので期間としてはそこまで長くないかもしれません。

・今後の目標

自分も聴いてる人も楽しめて、私しか弾けないような音楽をやっていたら良いと思います。

【神谷光昭さん】

・本日の感想

緊張しました。だいぶ指も動かなかったのですが、ある程度は思いっきり、気持ちよく弾けたかなと思います。

・使用ギター

野辺正司

・ギター歴

中学2年の時にテレビで阿部保夫さんのギター教室が始まって、それを機に安いギターを買ってスタートしました。高校、大学は独学で練習して、大学ではギター部に所属してました。社会人になってギターを全く弾かなくなって、再開したのが50歳手前ですね。



・自由曲の準備期間

予選の自由曲（BWV1009 よりクーラント）と本選のプレリュードは学生時代に弾いていた曲で50年前から弾いている曲ですね。と言っても30年ほどのブランクがあるのですがとても思い入れのある曲です。ジークは比較的最近になって始めた曲でまだ弾ききれてない部分もあるかなと感じています。

・今後の目標

できれば緊張しないで弾けるようになりたいですね（笑）バッハが好きなんですけど演奏する場所を選んでしまうので、例えば老人ホームなどでも喜んでもらえるような曲をやっていきいたいと思いますね。

## 【藤崎哲郎さん】

### ・本日の感想

まさか入賞できると思っていなかったの、信じられない思い  
でいっぱいです。

### ・使用ギター

尾野薫・ブーシェモデル (2017)

### ・ギター歴

始めてからの期間で言うと 58 年ほど経ちます。会社に入っ  
てからは真剣にやっていなかったのですが定年が視界に入っ  
てからは老後の趣味として昔やったギターを真剣にやりたい  
なと思い再開しました。



### ・自由曲の準備期間

今回は自由曲がなかなか決まらなくて、今年の2月頃に先生から、まずは小品で良いのでロマンス  
(J.K.メルツ) をやらないかと言われました。それから時代の違うバロック時代の曲を、最後にあなた  
が一番得意としている曲をやりなさいと言われました。と言うことでサラバンド (バッハ) とベ  
ネズエラワルツの3番 (ラウロ) をやることにしました。あとは熟年の色気を思いっきり表現し  
ると言われまして、ない色気を一生懸命捻り出しました (笑)

### ・今後の目標

昨年あたりからデュオを少しずつ始めました。ギターやマンドリン、フルートなどと一緒にデ  
ュオで作る音楽というものを醸し出していこうということで自主公演も何回かやりました。  
今後はコンクールで競うよりも、良い音楽を届けていきたいと思っています。

## 本選採点表

演奏順	氏名	西本	ブラーボ	石田	井上	川俣	酒井	志田	高久	多治川	堀井	平均点	合否
1	藤崎哲郎	81	82	78	78	82	75	81	84	78	79	79.8	○
2	赤井 香琳	84	85	84	82	85	79	83	87	82	82	83.3	○
3	伊藤 陽夏	77	75	74		76	74	76	83	74	77	76.2	
4	神谷 光昭	82	81	81	80	83	77	78	85	76	80	80.3	○
5	渡邊 健児	80	79	80	79	72	78	79		77	78	78	
6	小林 愛美	83	84	87		84	85	88	86	81	84	84.7	○

\*師弟関係は空欄にして点数を入れない

●イベント報告

・総会

2021年2月14日(日)、神奈川ギター協会の総会がZOOMでのオンライン会議で開かれました。

・神奈川ギターフェスティバル2021

2022年4月2日(日) 神奈川ギターフェスティバル2021が横浜関内ホール小ホールで開催されました。

コロナ禍の状況下としてはちょうど良い規模感で、盛会になりました。後日参加者からの体調不良の連絡やクレームもなく終了できました。

●委員会から

2023年第51回神奈川新人ギタリストオーディション課題曲が決定しました。

予選 アレグロ・ヴィヴァーチェ M.ジュリアーニ作曲 リピートなし DC.あり

本選 ファンタジア A.ムダーラ作曲 版自由

●暑気払いについて

毎年恒例の暑気払いは、委員の参加者が少ないため中止になりました。

●神奈川ギター協会のホームページが新しくなりました。

→<http://kanagawaguitar.net/index.html> (アドレスが変更されています)

コンサート案内をリアルタイムで紹介していますのでご覧ください。またはパソコン・スマートフォンをお持ちのお弟子さん、ご友人にお尋ねください。

ホームページへのコンサート案内掲載は、酒井良祥委員に電子メールでお知らせください。尚、掲載は会員の関係するコンサートに限ります。

●10月の協会主催イベントのお知らせです。

昨年度オーディション合格者による“デビューリサイタル”

出演・・・堀江基之・望月亮平・小橘田ひろみ

2022年10月8日(土) 15:00 開演 (14:30 開場)

二俣川サンハート音楽ホール

入場無料